

2015年5月期 第2四半期 機関投資家向け決算説明会資料

[2015年1月14日]

経営方針

- 公明正大かつ信用あるオークション市場の創造と拡大
- 常に信用を重んじる中での慎重かつ大胆な挑戦
- 豊かで美しく潤いある生活文化の追求

目次

2015年5月期 連結第2四半期 概況	3	2015年5月期 国際事業戦略	18
企業集団の状況と事業セグメントについて	4	シンワアートオークション新中期経営計画骨子	19
2015年5月期 連結第2四半期 決算概要	5	新中期経営計画2年目（2014年）行動計画	20
2015年5月期 連結第2四半期 B/S	6	新中期経営計画2年目（2014年）を振り返る	21
2015年5月期 第2四半期オークション関連事業 業績内訳	7	戦略子会社 エーパック株式会社 I	22
2015年5月期 第2四半期オークション関連事業 取扱高・粗利益の推移	8	戦略子会社 エーパック株式会社 II	23
近代美術オークション 平均落札価格の推移	9	戦略子会社 シンワメディコ株式会社 I	24
近代美術オークション インデックス	10	戦略子会社 シンワメディコ株式会社 II	25
国内美術オークション市場の規模の推移	11	戦略子会社 J オークション株式会社	26
取扱アイテム及び高額落札作品 シェア比較	12	シンワアートオークショングループ 新中期経営計画3年目に！	27
2015年5月期 財務方針	13	戦略子会社3社 2015年5月期 業績予想	28
これまでの事業推移	14	戦略子会社3社 2015年5月期 業績予想前提条件	29
オークション事業 I	15	2015年5月期 5期連続黒字・連結収益急拡大	30
オークション事業 II	16	2015年5月期 連結業績予想	31
2015年5月期 国内オークション事業戦略	17	将来見通しに関して	32
		会社概要	33

2015年5月期 連結第2四半期 概況

■ 実績

売上高
816百万円

営業利益
△12百万円

経常利益
△15百万円

四半期純利益
△24百万円

■ オークション関連事業・・・シンワアートオークション株式会社、Jオークション株式会社（B/J&W）

主力の近代美術オークションでは前年同期間比で出品・落札点数ともに大きく増加し、落札価額も落札予想価格帯の下限合計に対して平均131.3%の伸び率と、順調な成績を収めました。高額品に人気が集まる一方で、低価格帯の作品を取り扱う近代美術PartⅡオークションでは取扱高・売上高ともに前年同期間比を下回りました。近代陶芸・その他オークションは、取扱高・売上高ともに好調であり特別オークションとして開催した「棟方志功－漆黒の宇宙、紅色のいのち」は出品点数は22点と少ないながらも平均落札単価は1,300万円を超え、大きく貢献いたしました。その結果、取扱高は2,300百万円（前年同期間比9.9%増）、売上高は576百万円（前年同期間比2.2%増）、となりました。セグメント利益は販売費及び一般管理費の増加により12百万円となりました。

■ 再生可能エネルギー関連事業・・・エーペック株式会社

平成26年6月から9月までに50kW級の小型太陽光発電施設4基の販売、同10月に9基の販売を当初見込んでおりましたが、一部電力会社の連系保留措置により九州地区の同型の3基の連系販売が保留・延期になり、取扱物件を確実に連系可能なもののみに絞り込みました。また当第2四半期連結累計期間の販売予定の物件のうち一部を平成26年12月の連系販売に切り替えたため、当該期間では6基のみの販売となりました。穂北太陽光発電所の売電収入は予想より若干下回りました。その結果、売上高は239百万円、セグメント損失は22百万円となりました。

■ その他・・・シンワメディコ株式会社

医療機関向け支援事業では、2013年6月より診療報酬債権ファクタリング事業を開始し、医療機関向けファクタリングのための具体的折衝を随時行っておりますが、当社の第7回新株予約権に係る資金調達の遅れと、当社からの一時貸付を再生可能エネルギー関連事業に対して優先的に行っていることにより、投資機会を見送る状況にあります。

企業集団の状況と事業セグメントについて

I. オークション関連事業

シンワアートオークション株式会社（当社）

II. 再生可能エネルギー関連事業

J オークション株式会社（連結子会社）・・・当社から宝石部門を移管

III. その他

エーペック株式会社（連結子会社）

シンワメディコ株式会社（連結子会社）・・・医療機関向け支援事業

（持分法適用関連会社）

Asian Art Auction Alliance Co,Ltd

（単位：百万円）

	オークション 関連事業・・・I 2Q	再生可能エネ ルギー関連事業・・・II 2Q	計	その他・・・III	合計
売上高	576	239	816	0	816
セグメント利益	12	△22	△9	△2	△12
セグメント資産*	—	—	—	—	—
減価償却費*	—	—	—	—	—
有形固定資産の増加額*	—	—	—	—	—

* 2Qにつきましては省略させていただきます。

2015年5月期 連結第2四半期 決算概要

(単位：百万円)

	2014年5月期 第2四半期 実績	2015年5月期 第2四半期 計画	2015年5月期 第2四半期 実績	増減（対前年）		増減（対計画）	
				（額）	（％）	（額）	（％）
売上高	568	829	816	248	43.5	△13	△1.7
売上総利益	396	432	378	△17	△4.3	△53	△12.4
販売費及び一般管理費	326	373	391	65	20.0	17	4.6
営業利益	70	59	△12	△82	－	△71	－
経常利益	63	49	△15	△78	－	△64	－
四半期純利益	47	23	△24	△71	－	△47	－
四半期包括利益	44	－	△27	△71	－	－	－

2015年5月期 連結第2四半期 B/S

(単位：百万円)

[資産の部]	FY2014.5 2Q	FY2015.5 2Q
流動資産	2,123	2,867
- 現預金	1,440	1,290
- オークション 未収入金・売掛金	173	459
- 商品	273	507
- 仕掛品	—	325
- 前渡金	115	53
- 繰延税金資産	48	44
- その他	72	186
固定資産	376	608
- 有形固定資産	318	294
- 投資その他	57	313
資産合計	2,499	3,475

(単位：百万円)

[負債の部]	FY2014.5 2Q	FY2015.5 2Q
流動負債	731	1,722
- オークション未払金	461	351
- 短期借入金・1年以内 返済の長期借入金	151	1,086
- その他	118	283
固定負債	313	166
負債合計	1,045	1,888
- 資本金	849	920
- 剰余金	805	878
- 自己株式	△222	△221
その他*	21	9
純資産合計	1,454	1,586
負債・純資産計	2,499	3,475

自己株式：
854,800株保有

自己資本比率：45.3%

* 「その他」には、包括利益・新株予約権・少数株主持分が含まれております。

2015年5月期 第2四半期 オークション関連事業 業績内訳

		取扱高 2Q(百万)	前年度比 増減 (%)	構成比 (%)	売上高 2Q(百万)	前年度比 増減 (%)	構成比 (%)
オークション事業	近代美術	1,303	18.3	56.7	248	3.7	43.1
	近代陶芸	102	17.4	4.5	28	44.6	4.9
	近代美術 Part II	115	△30.9	5.0	28	△38.4	4.9
	その他	608	3.4	26.4	137	4.1	23.9
	小計	2,130	9.5	92.6	442	1.2	76.7
オークション関連 その他事業	プライベートセール	117	19.2	5.1	108	15.9	18.8
	その他	52	6.8	2.3	25	△22.9	4.5
	小計	169	15.1	7.4	134	5.6	23.3
合計		2,300	9.9	100.0	576	2.2	100.0

本表の金額には当社の手数料及び消費税等は含まれておりません。

2015年5月期 第2四半期 オークション関連事業 取扱高・粗利益の推移

(単位：百万円)

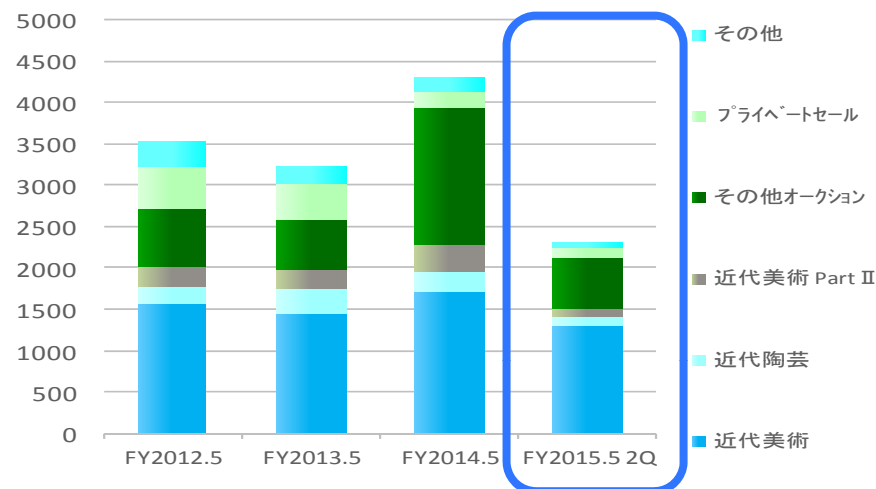
		FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5	FY2015.5 2Q
オークション事業	近代美術	1,571	1,445	1,720	1,303
	近代陶芸	208	304	243	102
	近代美術 Part II	246	229	321	115
	その他オークション	693	603	1,653	608
その他	プライベートセール	496	446	205	117
	その他	317	196	153	52
取扱高合計		3,534	3,225	4,297	2,300

(単位：百万円)

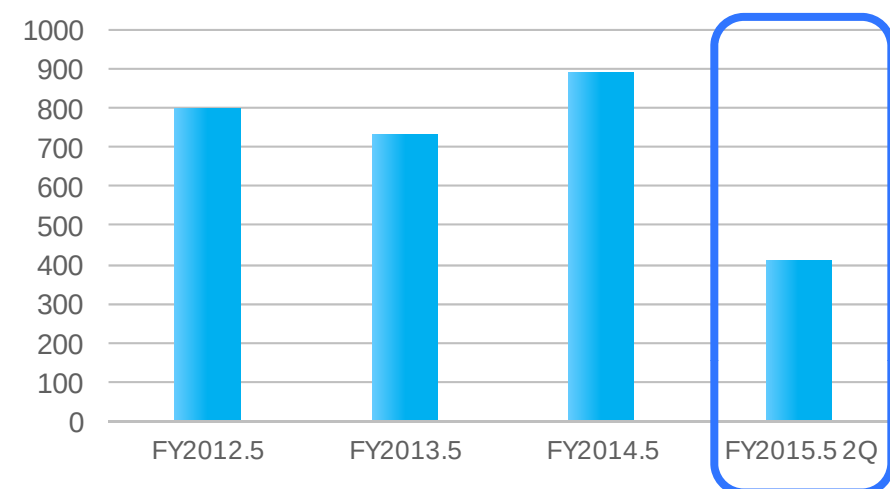
	FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5	FY2015.5 2Q
手数料収入①	523	481	702	396
カタログ収入②	50	52	50	26
小計③ = ①+②	574	534	777	423
④商品売上高	784	714	416	153
⑤商品売上原価	△558	△515	△275	137
粗利益③+④-⑤	800	733	891	412

注：カタログ収入には会費、貸会場収入も含まれます。

■ 取扱高



■ 粗利益



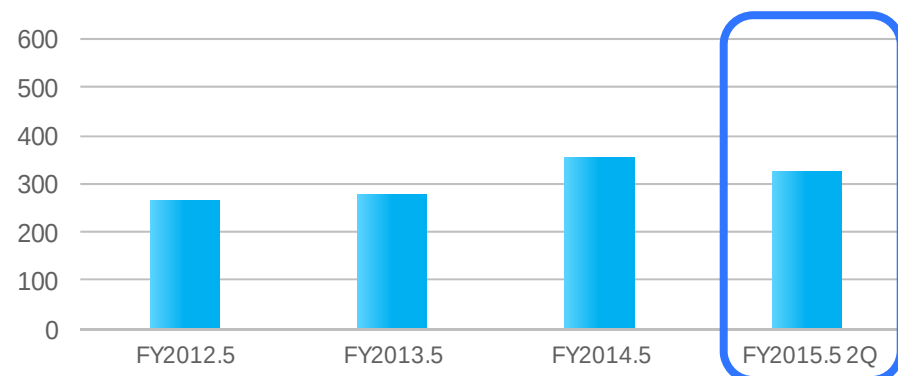
近代美術オークション 平均落札価格の推移

(単位：百万円)

	FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5	FY2015.5 2Q
回数	6回	6回	5回	3回
出品数	678点	576点	595点	494点
落札数	579点	516点	481点	395点
落札率 (%)	85.4	89.5	80.8	80.0
落札総額 (百万円)	1,538	1,437	1,714	1,296
平均落札価格 (万円)	265	278	356	328

注：アフターセールは含んでおりません。

■ 平均落札価格の推移



2015年5月期 2Q 主な落札実績

■ 棟方志功

「二菩薩釈迦十大弟子」

落札予想価格：6,000万円～9,000万円

落札価格：8,200万円

2014年6月28日 近代美術オークション

■ 白髪一雄

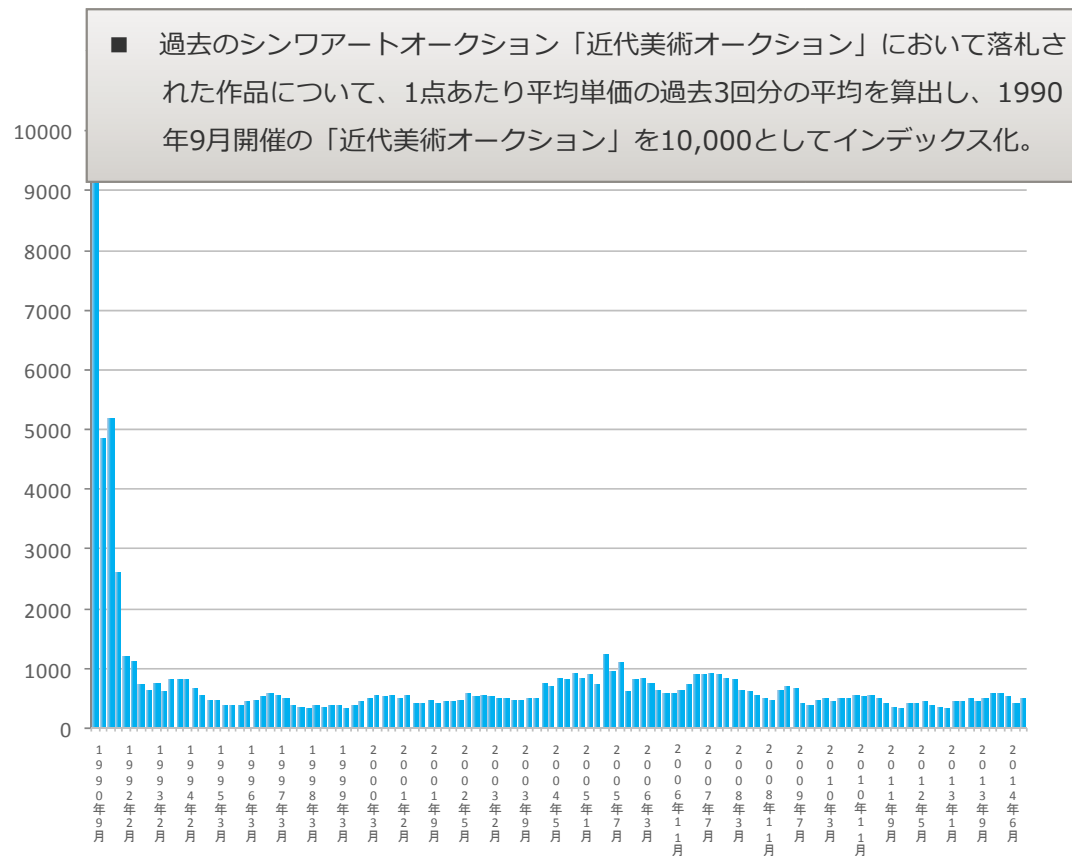
「芬芳」

落札予想価格：2,000万円～4,000万円

落札価格：6,200万円

2014年11月23日 近代美術オークション

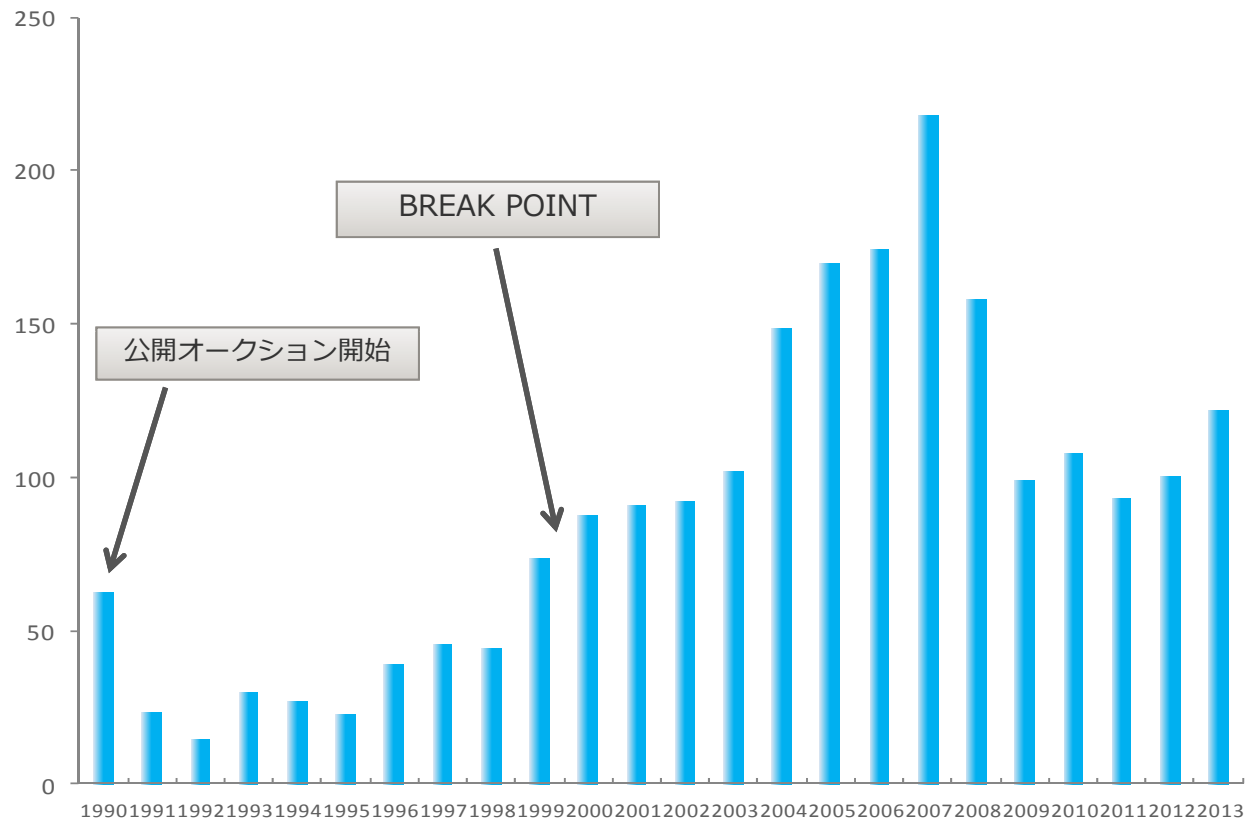
近代美術オークション インデックス



オークション開催年月	インデックス
1990年 9月	10,000
1992年 2月	1,216
1993年 2月	764
1994年 2月	818
1995年 3月	459
1996年 3月	429
1997年 3月	549
1998年 3月	338
1999年 6月	325
2000年 3月	489
2001年 7月	403
2002年 3月	445
2003年 2月	527
2004年 3月	741
2005年11月	610
2006年 9月	571
2007年11月	891
2008年 9月	560
2009年 3月	631
2010年 3月	482
2011年11月	357
2012年 2月	最小 318
2013年 7月	503
2013年11月	496
2014年 1月	572
2014年 3月	580
2014年 6月	525
2014年11月	483

国内美術オークション市場の規模の推移

(単位：億円)



暦年	落札推移 (百万円)	前年比
1990年	6,256	-
1991年	2,300	-63.2%
1992年	1,479	-35.7%
1993年	2,945	99.1%
1994年	2,701	-8.3%
1995年	2,258	-16.4%
1996年	3,903	72.8%
1997年	4,549	16.5%
1998年	4,408	-3.1%
1999年	7,357	66.9%
2000年	8,765	19.1%
2001年	9,075	3.5%
2002年	9,211	1.5%
2003年	10,223	11.0%
2004年	14,857	45.3%
2005年	16,950	14.1%
2006年	17,426	2.8%
2007年	21,835	25.3%
2008年	15,774	-27.8%
2009年	9,903	-37.2%
2010年	10,777	8.8%
2011年	9,331	-13.4%
2012年	10,064	7.86%
2013年	12,276	21.9%

* 「月刊美術」 2014年3月号より

取扱アイテム及び高額落札作品 シェア比較

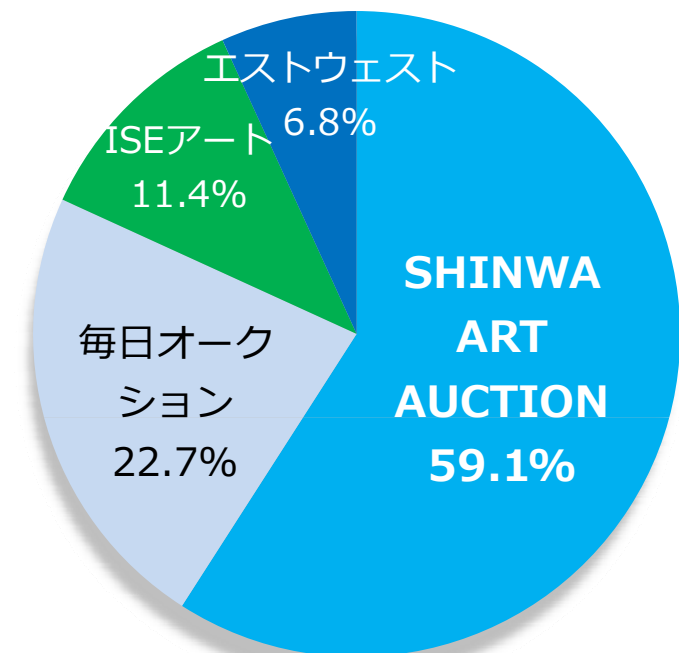
オークション名	年間回数	内容
近代美術	6回	近代日本画・日本洋画・彫刻・外国絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね20万円以上の作品（平均落札価格：約356万円）
近代陶芸	4回	近代陶芸・茶道具・漆芸・金工・古美術など、落札予想価格の下限金額が概ね10万円以上の作品（平均落札価格：約27万円）
近代美術 Part II	6回	版画・日本画・洋画・陶芸など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約15万円）
Bags / Jewellery & Watches	4回	ブランド雑貨・時計宝飾品など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約21万円）
西洋美術	不定期	西洋ガラス工芸・西洋磁器・西洋家具・西洋絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね5万円以上の作品（平均落札価格：約20万円）
ワイン	不定期	高級ワイン
特別オークション	不定期	日本刀・プライベートコレクションなど

注：取扱アイテムの平均落札価格は2014年5月期期末時点

2015年5月期2Q末時点での近代美術の平均落札価格は、328万円

■ 高額落札作品市場シェア(2,000万円以上)

高額落札作品市場シェア 約6割



* 暦年（2013）「月刊美術」2014年3月号より

2015年5月期 財務方針

従来の財務方針

- 経常黒字継続
- 配当性向30%以上継続目標
- 短期借入金の適正運用
- いかなる金融商品も保有せず
- 適正な在庫リスクコントロール
- 原則的には短期売却による短期損益確定
- 戦略在庫は適正仕入れによるリスクコントロール
- 内規に沿った適正な評価による引当金計上
- 実態ある時価総額経営へ移行
- 市場からの資金調達を積極化
- 純資産の拡大、大規模なプラットフォームを形成
- 有能な人材確保のため積極的な新株予約権発行

新たに加わる財務方針

連結ROE15%以上を目標

インフレを前提としたバランスのとれた安全資産
と銀行融資の拡大

これまでの事業推移

～追い風続く！美術品価格単価上昇、太陽光発電ブーム選別化へ～

第26期

2014年6月～2015年5月

■ 第26期 連結収益急拡大

中期経営計画2年目・オークション好調・太陽光貢献

資本力強化・プラットフォーム拡大・太陽光発電施設建設ラッシュ・
メディコ資金調達模索・新たな安定事業の模索

第25期

2013年6月～2014年5月

～アベノミクスは追い風、デフレ脱却へ～

■ 第25期 収益拡大、成長軌道初年度

中期経営計画始動・新規事業収益化

オークションプラットフォーム拡大開始・積極的な資金調達

第24期

2012年6月～2013年5月

～続く厳しい事業環境、中国経済鈍化、ユーロ金融危機～

■ 第24期 黒字維持努力、新たな成長模索

新中期経営計画策定・発表

黒字維持・ディーリング強化・新規安定事業模索、新たな成長戦略を模索

第23期

2011年6月～2012年5月

～東日本大震災 / 暗雲広がる事業環境～

■ 第23期 黒字体質の確立・配当継続

経営資源を国内へ集中、国内新規事業展開

出品確保に注力、確実な収益の確保・短期の換金需要に対応しディーリング強化

第22期

2010年6月～2011年5月

3期ぶりの黒字・復配

■ 第22期 黒字へ向けた施策

経営資源を国内へ集中 ⇒ 近代美術への注力

会員制度・特約店拡大施策・新アイテムとしてブランド雑貨オークションを戦略的に開催

第21期

2009年6月～2010年5月

アジア・欧米の美術市場は
緩やかな回復を始める中、
日本は兆し見えず・・・

■ 第21期 アジア・欧米の美術市場底打ち

更なる機構・構造改革を断行

すべての経費アイテムの更なる見直し・削減 / 固定賞与減額を続行
非収益的部門となっているアジアマーケティング部門をジョイントベンチャーへ移行

第20期

2008年6月～2009年5月

急速に収縮した日本の美術市場

■ 第20期 リストラに始まる

会社規模の適正化・緊急リストラ策断行

金融危機・リーマンショック

徹底的な経費削減・・・役員報酬減額、役員賞与停止・希望退職者募集・本社機能移転・固定賞与の減額

2015年 日本近代美術再生プロジェクト3年目 オークション事業Ⅰ - 日本近代美術再生の担い手として

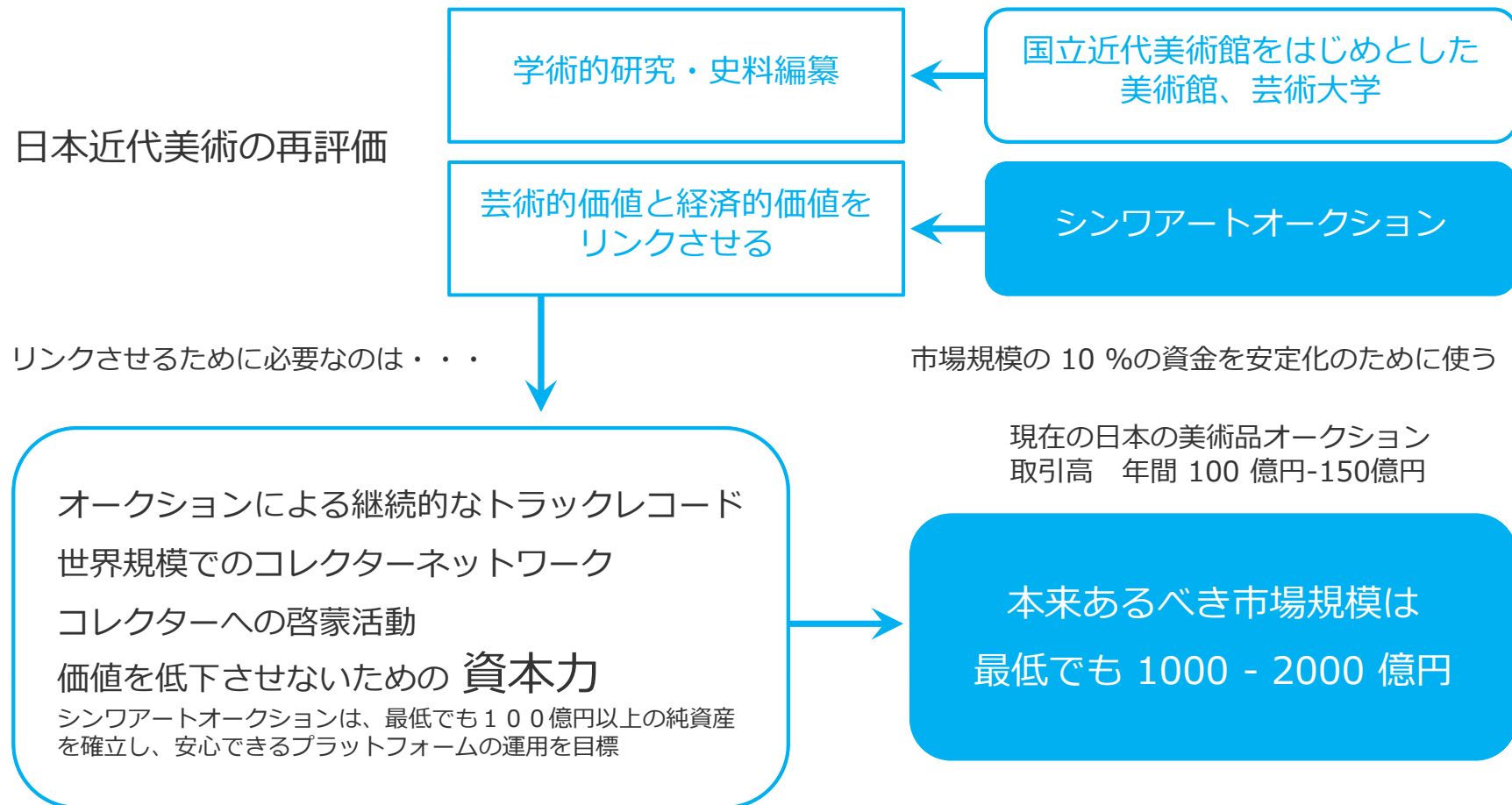
日本近代美術再生プロジェクト

- 資本金・経験・ネットワークで日本近代美術を再生
- 日本に安定的な美術市場のプラットフォームを創る
(デフレサイクルでも底堅く市場を支えられるプラットフォームを、インフレの時期に確立する)

オークション事業の収益力を強化

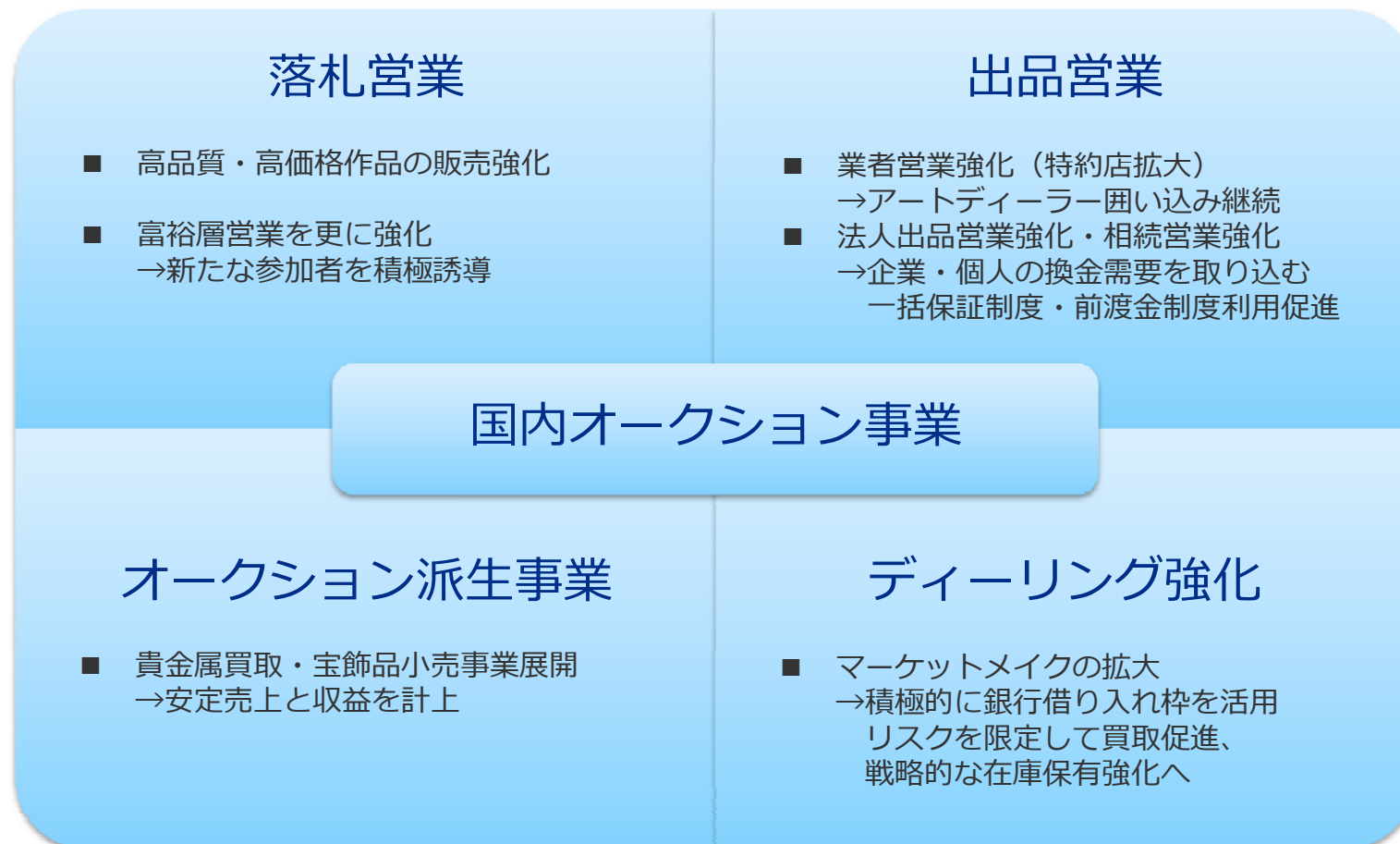
- 日本近代美術の盟主として、日本近代美術の価値付け、向上、維持に責任を持つ
- 年間市場規模 最低1000億円を達成するための注力
- プライベートセールなどを含め、収益を上げながら、日本近代美術市場を下支えする
- プライマリーマーケットへの進出を模索
- 芸術的価値及び経済的価値の向上に寄与する啓蒙活動を継続する

2015年 日本近代美術再生プロジェクト3年目 オークション事業Ⅱ - 再評価と価値の安定化のために



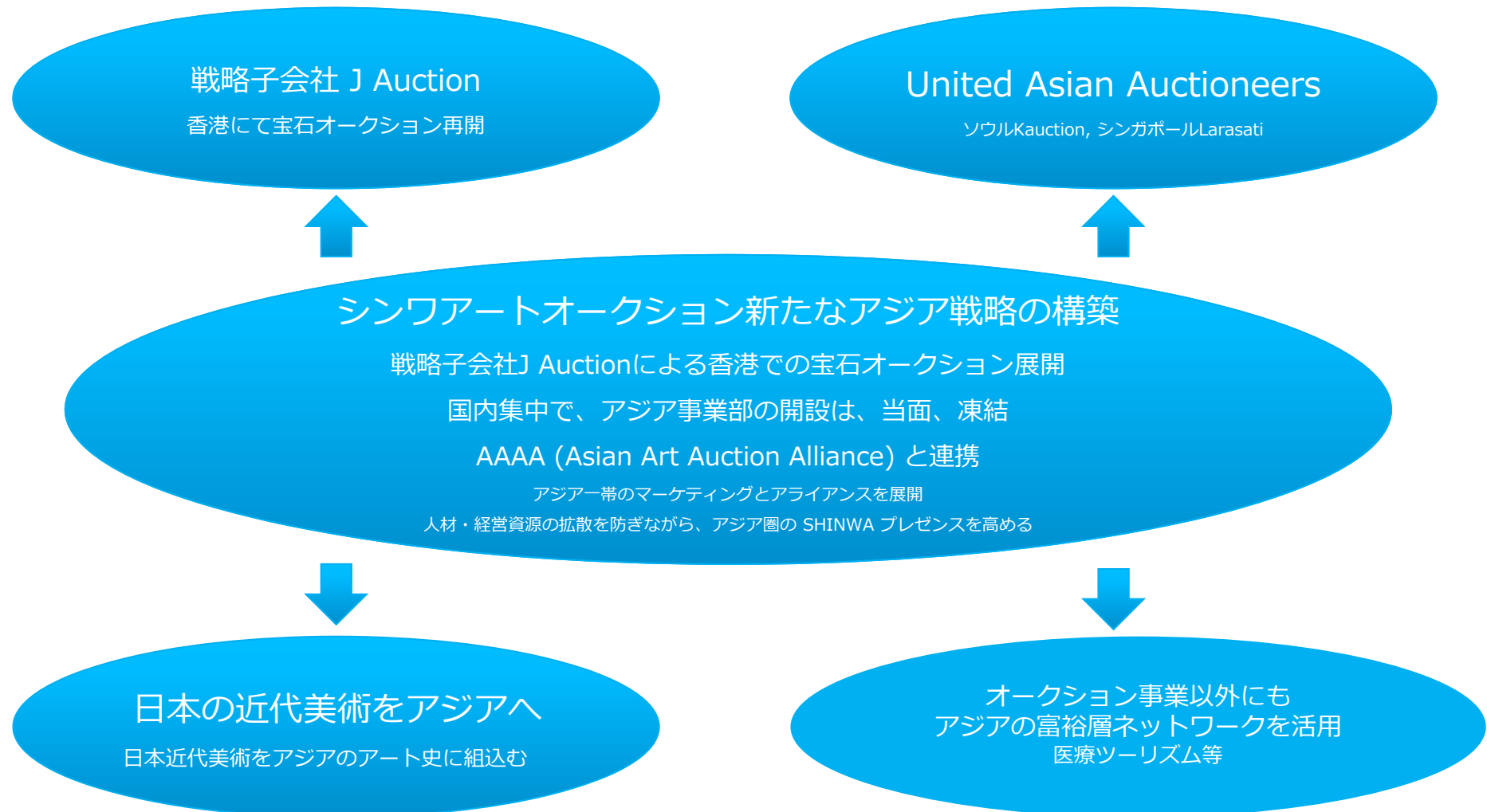
2015年5月期 国内オークション事業戦略

新たな成長に向けて、基幹事業で確実な収益確保。インフレを好機として積極展開。



2015年5月期 国際事業戦略 ～ アジア地域における投資戦略

Asian Art Auction Alliance Co.,Ltd.の 21.1% を所有



シンワアートオークション新中期経営計画骨子（平成25年1月20日発表）

オークション事業

日本近代美術再生プロジェクト

- 資本力を駆使
- マーケットメーカー機能構築
- 既存の人材能力を最大限に発揮

戦略子会社

（富裕層向け総合流通サービス構築）

- 様々な新規事業を開発・育成
- 外部の有能な人材の確保と活用
- プロとの連携・即戦力で収益化
- 付加価値不動産事業
（再生可能エネルギー関連事業）
- 医療分野（ホスピタルネットワーク）
- IT/IP 高額品インターネットオークション
- 金融サービス（美術品担保ファイナンス）
- 高級食材等宅配事業

アジア事業

- アジアネットワークを活かす
- アジア事業部活動開始
- Asian Art Auction Alliance と連携

新中期経営計画2年目（2014年）行動計画

- ・これから5－10年を見据えた日本のインフレをにらみ、積極的な資産の拡大
- ・連結ベースでの収益急拡大をにらむ
- ・日本のアートオークションプラットフォームの拡大
- ・シンワアートオークション純資産25億を目指す
- ・株式市場からの資金調達を継続
- ・銀行与信枠の拡大と、銀行借入枠の活用強化
- ・新株予約権発行を継続・社内意識を更に強化
- ・Jewellery & Watchesオークション 香港・日本継続開催
- ・太陽光発電施設建設・販売加速・収益貢献へ
- ・診療報酬債権ファクタリングのファイナンススキームの確立
- ・医療ツーリズム等のメディカル事業の新たな事業モデルの模索
- ・新規安定事業の研究開発

新中期経営計画 2 年目（2014年）を振り返る

- ・ 日本におけるアートオークションプラットフォーム拡大のため奮闘
（主力の近代美術オークション拡大、棟方志功特別オークション成功）
- ・ 株式市場からの資金調達に苦しむ、収益拡大で株価上昇を目指す
- ・ 銀行を含めた資金調達能力を更に強化
- ・ 新株予約権発行による社内意識の明確化を継続
- ・ Jオークション、香港Jewellery & Watchesオークション開催
- ・ 経営資源の活用のための戦略子会社を収益化へ（太陽光発電事業）
- ・ 群馬県伊香保太陽光発電システム完売
- ・ 関東圏・関西圏で50kW低圧型太陽光発電施設の販売取り扱いを急拡大
- ・ 宮崎県穂北1MWに続き、関西圏にて2件、高圧型物件の開発（連系は2015年3月までを予定）
- ・ 診療報酬債権ファクタリングビジネスの再構築を模索・ファイナンスに苦しむ
- ・ 医療ツーリズム、医療データバンク、その他新規メディカル事業を模索

戦略子会社 - エーパック株式会社 I

宮崎県穂北太陽光発電所メガソーラー稼働中

20年間電力固定価格買取制度（42円 / kWh）を利用し、2013年11月より九州電力に売電開始

名 称： 穂北太陽光発電所
 場 所： 宮崎県西都市大字穂北 3835-1、3835-2、3842-1
 発電規模： 約1MW（993.6kW）
 年間想定発電量： 1,165,423kWh



戦略子会社 - エーパック株式会社 II

太陽光発電システム分譲予約販売中 ～ グリーン投資減税を活用 ～

今期分譲予定戸数
50kW換算で45基以上

標準的スペック（1基当たり）
容量 約50kW
（50kW未満）

固定売電収入受益期間
20年

機材
国産もしくは
質の高い外国製

総敷地面積
約200坪
（所有権もしくは借地権）

平均年間売電収入
約180万円

分譲販売価格
約3000万円



分譲実績

群馬県 - 約50kW 9基・約30kW 2基→完売
千葉県 - 約50kW 7基→完売
埼玉県 - 約50kW 5基→完売
茨城県 - 約50kW 2基→完売

分譲販売予定地

宮崎県 - （約150kW） 三重県 - （約2MW）
千葉県 - （約550kW） 兵庫県 - （約1.3MW）
岡山県 - （約750kW） 群馬県 - （約950kW）
その他、多くの物件を分譲販売する予定です。

20年間の固定買取制度

電力会社と発電した電力をやり取りする一般的なシステムを利用しますが、平成24年度固定価格買取制度がスタートし、10kW以上の太陽光発電システムについては、発電した電力を全て、電力会社に、20年間、固定価格にて売却することができるようになりました。

グリーン投資減税（公的支援制度）

中小企業に限り、設備取得価格の7%相当額の税額控除

法人または青色申告をしている個人を対象に、普通償却に加えて取得額の30%相当額を限度として償却できる特別償却

法人または青色申告をしている個人を対象に、取得価格の全額を償却（100%償却、即時償却）できる特別償却

固定資産税の軽減措置

対象設備についてあらたに固定資産税を課されることとなった年度から3年分の固定資産税に限り、課税標準を、課税標準となるべき価格の2/3に軽減する。

【適用期間】平成26年3月31日まで

銀行融資・リースの活用

20年間の安定した電力収入を背景に、国産機材を利用した設備に関して、銀行融資やリースを活用することが可能となり、初期投資金額が少なくなることにより利回りが飛躍的に向上することが可能になります。

戦略子会社 - シンワメディコ株式会社 I



- 医療機関・介護施設向け診療報酬債権ファクタリング開始
※ 2013年6月 初の診療報酬債権ファクタリング契約締結
- 2014年は、資金調達の遅れにより診療報酬債権ファイナンススキーム模索、ファクタリングチーム再構築中
- 2015年は、ファイナンススキームが再構築できれば、診療報酬債権ファクタリング事業に再挑戦
- 集中出版株式会社と提携し、医療ツーリズムを展開へ
また、集中医療情報ナビの利用拡大に向けたプロモーション事業を模索

MediCon. × SHiNWA MediCo
集中高度先端医療受診倶楽部

- その他事業：医療機関・介護施設の買収/経営、再生医療関連事業への投資

戦略子会社 - シンワメディコ株式会社 II

■ 医療ツーリズム

集中出版株式会社と提携し、医療コンサルを通じて、アジアの富裕層及び中間層に日本の高度医療を紹介する



■ 集中医療情報ナビと提携

shuchu-navi.com

病院検索・医薬品検索・医師検索サイトを活かす



戦略子会社 - Jオークション株式会社

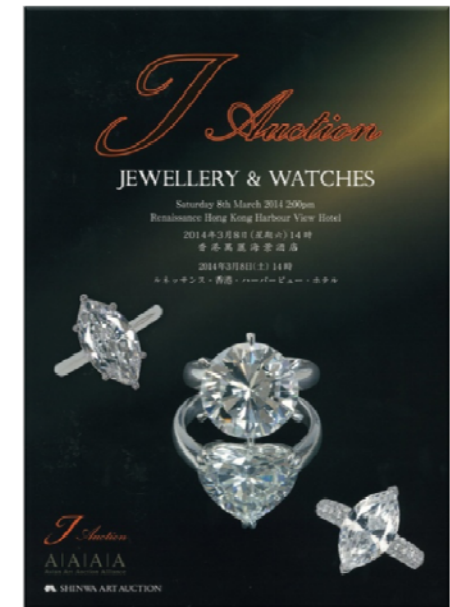
宝飾品業界のプロとのアライアンス

宝飾品オークション会社として日本一を目指し、アジアで大きなプレゼンスを確立する

- 香港でのJewellery & Watchesオークションを再開
最低年2回開催予定
- シンワアートオークションのJewellery & Watchesオークションを
引き継ぎ、国内で年間2～3回のオークションを開催予定

会社概要

商号	Jオークション株式会社
本店所在地	東京都台東区上野五丁目8番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小玉 啓一郎
主な事業内容	時計・宝飾品等を対象としたオークションの企画・開催・運営、古物売買及び委託売買ならびに輸出入
資本金	1,000 万円
出資比率	当社 51%



シンワアートオークショングループ 新中期経営計画 3年目に！

構想・布石の2年を終え、実現するステージ

- 2015年のシンワアートオークショングループは、大きな飛躍の時期を迎える。まず、この1－3月、先陣を切って、エーペックが最初のスパート。年の後半は、シンワアートオークションがインフレの波に乗って、新たな成長軌道を明確に。
- シンワアートオークションは、前半、アベノミクスの中だるみから、多少苦戦する局面もあるが、半ばから後半にかけて、インフレを象徴するポジティブなサプライズの中で、確実に収益を上げる。昨年後半に構築した新たな社内体制をフル稼働させて、大きな成果を目指して、実績をあげていく。
- エーペックは、最初の1－3月にダッシュをかけて、収益を稼ぎ、確実にグループ全体の収益を大きく下支え。業務を効率化して短期間のうちにより多くの案件を正確にこなせるよう活動を開始。
- シンワメディコはこれまでの枠組みを完全に組み替え、新たな道を模索、ファクタリング・医療ツーリズム等、新たな体制作りがようやく整い、1－3月から新たなチャレンジ。
- Jオークションは、継続しながらアジアの富裕層をいかに取り込めるかが勝負。地道な努力を継続。

戦略子会社3社 - 2015年5月期 業績予想

	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	当期利益 (千円)
エーペック(株)	2,443,609	135,000	121,728	58,468
シンワメディコ(株)	7,264	1,464	1,464	1,464
J オークション(株)	76,589	2,139	2,139	1,519

戦略子会社3社 - 2015年5月期 業績予想前提条件

エーパック(株) 下半期業績予想前提

- 2015年3月末までに連系・販売予定の太陽光発電施設のみを事業計画に組み込む

千葉50kw11基、岡山50kw15基、群馬50kw19基、熊本50kw1基を予定
50kwの低圧型物件は、物件の連系状況により、物件の場所が変わる可能性がある
高圧型物件は、兵庫にて、500kw、800kwの2件を連系・販売予定

- 三重県の方譲販売予定2MWは、来期2016年5月期連系を予定
- 太陽光発電にかかる再生可能エネルギー固定価格買取制度見直しにより、2015年4月以降の太陽光発電事業の事業予算化を見送り、見直し後の制度を見極めた上で、4月以降事業計画再構築予定
- 太陽光発電事業にとらわれない新規事業のための開発費用を10月より予算計上

シンワメディコ(株) 下半期業績予想前提

既存ファクタリングは一旦見直し

新規ファクタリング予定は、ファイナンススケジュールが確定するまで未定（ゼロ計上）

医療ツーリズム・集中医療情報ナビ事業を構築模索

J Auction(株)

香港2回、日本2回のJ&Wオークションを開催予定

顧客開拓で2014年12月トライアルオークション開催

2015年5月期 5期連続黒字・連結収益急拡大



プラットフォーム拡大と、連結収益の拡大へ!

2015年5月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	FY2014.5 実績	FY2015.5 計画	前年比 (%)
売上高	1,385	3,728	169.1%
営業利益	135	304	125.2%
経常利益	122	286	134.3%
当期純利益	108	163	50.1%
1株当たり当期純利益* (単位：円)	20.39	28.79	

* 2013年12月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

※ 将来見通しに関して

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

会社概要

シンワアートオークションは、日本に高額品の換金市場を確立するため、公明正大なオークション市場の創造と拡大を目指しています。

- 年間約30回の公開オークションを開催
- 2013年の美術品オークション市場シェア… 25.3%

2013年の高額落札(2000万以上) 市場シェア… 59.1%

(「月刊美術」より)



商 号 シンワアートオークション株式会社

設 立 1989年6月15日

資本金 920百万円

本 社 東京都江東区有明3丁目7番26号
TEL 03-3520-0066

役 員	代表取締役社長	倉田陽一郎	監査役	羽佐田信治
	代表取締役専務取締役	中川健治		足達堅
	取締役	泉山隆		佐野洋二
		石井一輝		
		木下邦彦		

ご静聴有り難う御座いました。